

## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月7日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 パイオラックス  
 コード番号 5988 URL http://www.piolax.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島津 幸彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 永島 亨 TEL 045-731-1211  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月8日 配当支払開始予定日 平成28年12月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	31,514	0.6	4,898	11.3	5,310	9.7	3,800	10.3
28年3月期第2四半期	31,335	6.5	4,400	1.4	4,839	1.6	3,446	3.2

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期  $\Delta 1,117$ 百万円 (-%) 28年3月期第2四半期 3,667百万円 (20.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	318.35	—
28年3月期第2四半期	288.69	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	83,440	72,277	85.3
28年3月期	86,544	73,933	84.0

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 71,162百万円 28年3月期 72,686百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	35.00	—	45.00	80.00
29年3月期	—	40.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	61,500	$\Delta 4.4$	8,600	$\Delta 6.0$	9,100	$\Delta 9.6$	6,200	$\Delta 11.7$	519.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有  
（注）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	13,084,700株	28年3月期	13,084,700株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	1,146,375株	28年3月期	1,146,341株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	11,938,335株	28年3月期2Q	11,938,488株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
(参考資料) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、政府・日銀による経済政策や金融緩和等により個人消費、雇用情勢が底堅く推移し、景気は全体として緩やかな回復基調にあるものの、新興国経済の減速懸念や英国のEU離脱問題などによる株式市場の混乱、円高の進行による為替相場の不安定な動き等を背景に、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主要なお取引先である自動車業界につきましては、海外では米国や中国などを中心に好調を維持しておりますが、国内では主に円高の影響による輸出金額減少等により、国内生産台数は4,411千台と前年同期比0.8%の減少となりました。このような需要環境のもと当社グループといたしましては、お取引先からのニーズを確実に捕捉し、グローバルな拡販活動を継続的に推進した結果、売上高は31,514百万円と、前期比179百万円(0.6%)の増収となりました。

一方利益面におきましては、増収効果に加え、より一層の合理化を推進いたしました結果、営業利益は4,898百万円(前期比11.3%増)、経常利益は5,310百万円(前期比9.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,800百万円(前期比10.3%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (自動車関連等)

米国をはじめ新興国市場等にグローバル拡販を積極的に推進した結果、売上高は29,628百万円(前期比0.6%増)となりました。一方利益面においては、収益改善活動をグループ一丸となって推進した結果、営業利益は5,307百万円(前期比13.8%増)となりました。

#### (医療機器)

拡販を積極的に推進いたしましたが、償還価格の引下げ等の影響により、売上高は1,886百万円(前期比0.4%減)となりました。一方利益面においては、昨年建設した新工場の固定費、償却費が増加したこと等により、営業利益は△28百万円(前期は98百万円の利益)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末の資産合計は、棚卸資産、有形固定資産の減少等により3,103百万円減少し、83,440百万円となりました。

負債合計は、短期借入金、買掛金の減少等により1,448百万円減少し、11,162百万円となりました。

純資産合計は、為替換算調整勘定の減少等により1,655百万円減少し、72,277百万円となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、税金等調整前四半期純利益5,310百万円および減価償却費1,764百万円等の収入要因に対し、法人税等の支払額1,412百万円および有形固定資産の取得による支出2,273百万円等の支出要因の結果、前連結会計年度末と比較して1,587百万円(7.3%)減少し、当第2四半期連結会計期間末には20,097百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費および法人税等の支払額等により4,054百万円の収入(前年同期比4.5%減)となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等により3,723百万円の支出(前年同期比153.0%増)となりました。

なお、営業活動により得られたキャッシュ・フローと投資活動により使用したキャッシュ・フローを合計したフリー・キャッシュ・フローは、331百万円となりました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の返済による支出額等により842百万円の支出(前年同期比95.2%増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成28年5月12日の「平成28年3月期 決算短信」で公表した数値から変更していません。

なお、本業績予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成しており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当該変更による当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	21,517	21,629
受取手形及び売掛金	13,055	12,535
電子記録債権	1,228	1,376
有価証券	187	—
商品及び製品	4,310	3,824
仕掛品	1,595	1,365
原材料及び貯蔵品	1,768	1,529
その他	2,124	2,222
貸倒引当金	△42	△17
流動資産合計	45,746	44,466
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,872	7,252
機械装置及び運搬具(純額)	7,663	6,704
工具、器具及び備品(純額)	2,553	2,234
土地	5,179	5,091
リース資産(純額)	62	88
建設仮勘定	1,122	1,736
有形固定資産合計	24,455	23,106
無形固定資産		
のれん	4	2
その他	904	863
無形固定資産合計	909	866
投資その他の資産		
投資有価証券	14,197	13,903
その他	1,235	1,097
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	15,433	15,000
固定資産合計	40,797	38,973
資産合計	86,544	83,440

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,199	2,913
短期借入金	881	508
未払法人税等	1,050	971
引当金	831	821
その他	3,468	2,878
流動負債合計	9,430	8,093
固定負債		
退職給付に係る負債	168	163
資産除去債務	18	18
その他	2,993	2,886
固定負債合計	3,180	3,068
負債合計	12,611	11,162
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,960	2,960
資本剰余金	2,697	2,697
利益剰余金	66,193	69,456
自己株式	△2,837	△2,837
株主資本合計	69,014	72,277
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,615	1,354
為替換算調整勘定	2,465	△2,093
退職給付に係る調整累計額	△408	△376
その他の包括利益累計額合計	3,672	△1,115
非支配株主持分	1,246	1,115
純資産合計	73,933	72,277
負債純資産合計	86,544	83,440

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	31,335	31,514
売上原価	22,116	21,796
売上総利益	9,218	9,717
販売費及び一般管理費	4,818	4,819
営業利益	4,400	4,898
営業外収益		
受取利息	29	32
受取配当金	24	31
持分法による投資利益	358	368
その他	110	81
営業外収益合計	523	512
営業外費用		
支払利息	31	12
デリバティブ評価損	—	8
為替差損	10	41
固定資産廃棄損	13	14
賃貸収入原価	6	3
その他	22	20
営業外費用合計	84	101
経常利益	4,839	5,310
税金等調整前四半期純利益	4,839	5,310
法人税等	1,371	1,464
四半期純利益	3,468	3,845
非支配株主に帰属する四半期純利益	21	44
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,446	3,800

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	3,468	3,845
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	124	△289
為替換算調整勘定	153	△4,436
持分法適用会社に対する持分相当額	△79	△237
その他の包括利益合計	199	△4,962
四半期包括利益	3,667	△1,117
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,644	△987
非支配株主に係る四半期包括利益	23	△130

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,839	5,310
減価償却費	1,858	1,764
のれん償却額	1	1
持分法による投資損益 (△は益)	△358	△368
デリバティブ評価損益 (△は益)	△28	8
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	69	8
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6	△5
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4	△4
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	6	△19
受取利息及び受取配当金	△53	△63
支払利息	31	12
固定資産廃棄損	13	14
売上債権の増減額 (△は増加)	△20	△659
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△35	188
仕入債務の増減額 (△は減少)	△513	△130
その他	△205	△697
小計	5,606	5,360
利息及び配当金の受取額	101	118
利息の支払額	△31	△12
法人税等の支払額	△1,431	△1,412
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,244	4,054
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△1,637
定期預金の払戻による収入	203	—
有価証券の償還による収入	—	187
有形固定資産の取得による支出	△1,584	△2,273
有形固定資産の売却による収入	29	3
無形固定資産の取得による支出	△59	△65
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
その他	△58	63
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,471	△3,723
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	—	△255
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△400	△555
非支配株主への配当金の支払額	△25	△26
その他	△4	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△431	△842
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10	△1,076
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,331	△1,587
現金及び現金同等物の期首残高	16,356	21,685
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,688	20,097

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	自動車関連等	医療機器	合計
売上高			
外部顧客に対する売上高	29,441	1,894	31,335
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	29,441	1,894	31,335
セグメント利益	4,662	98	4,760

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,760
全社費用(注)	△384
セグメント間取引消去	29
その他の調整額	△6
連結損益計算書の営業利益	4,400

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	自動車関連等	医療機器	合計
売上高			
外部顧客に対する売上高	29,628	1,886	31,514
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	29,628	1,886	31,514
セグメント利益又は損失(△)	5,307	△28	5,278

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,278
全社費用(注)	△402
セグメント間取引消去	29
その他の調整額	△6
連結損益計算書の営業利益	4,898

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

「会計方針の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間に「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」を適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当該変更による当第2四半期連結累計期間の「自動車関連等」及び「医療機器」のセグメント利益に与える影響はそれぞれ軽微であります。

(参考資料)

[所在地別セグメント情報]

I 前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	合計 (百万円)	消去 又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	14,994	6,638	7,622	2,081	31,335	—	31,335
(2)セグメント間の内部売上高	3,028	46	820	40	3,935	△3,935	—
計	18,022	6,684	8,443	2,121	35,270	△3,935	31,335
営業利益	2,491	892	723	347	4,455	△54	4,400

II 当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	合計 (百万円)	消去 又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	14,903	6,656	7,824	2,130	31,514	—	31,514
(2)セグメント間の内部売上高	2,634	40	802	27	3,504	△3,504	—
計	17,537	6,697	8,626	2,157	35,019	△3,504	31,514
営業利益	2,308	1,122	1,099	329	4,860	38	4,898